

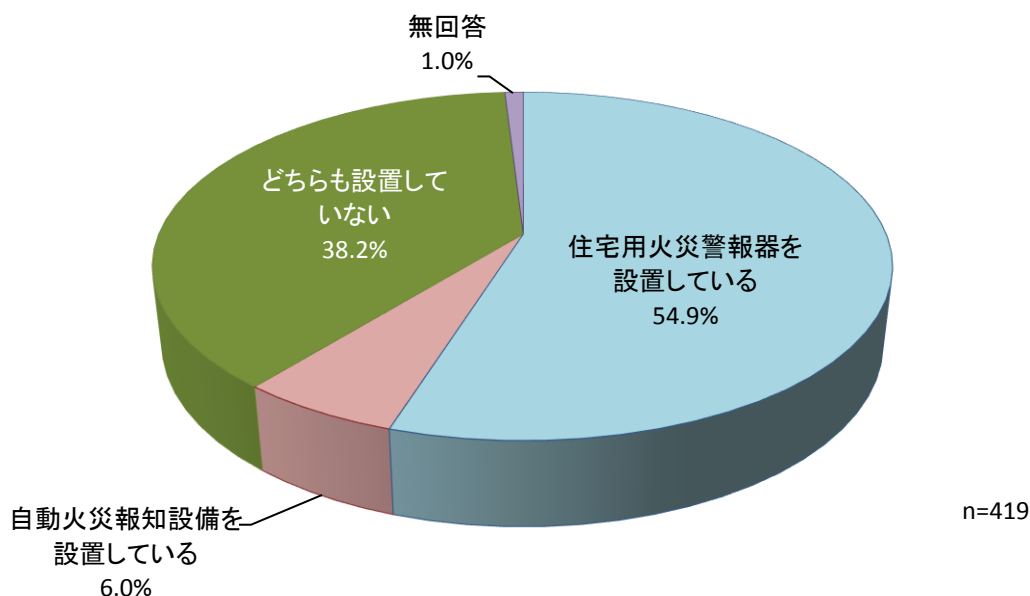
## 15. 住宅用火災警報器について

### (1) 「住宅用火災警報器または自動火災報知設備」の設置状況

◇【住宅用火災警報器または自動火災報知設備を設置している（計）】が約6割

問50	現在、自宅に『住宅用火災警報器または自動火災報知設備』を設置していますか。（○は1つ）	n=419
1	住宅用火災警報器を設置している	54.9%
2	自動火災報知設備を設置している	6.0%
3	どちらも設置していない	38.2%
	（無回答）	1.0%

<図IV-15-1>全体

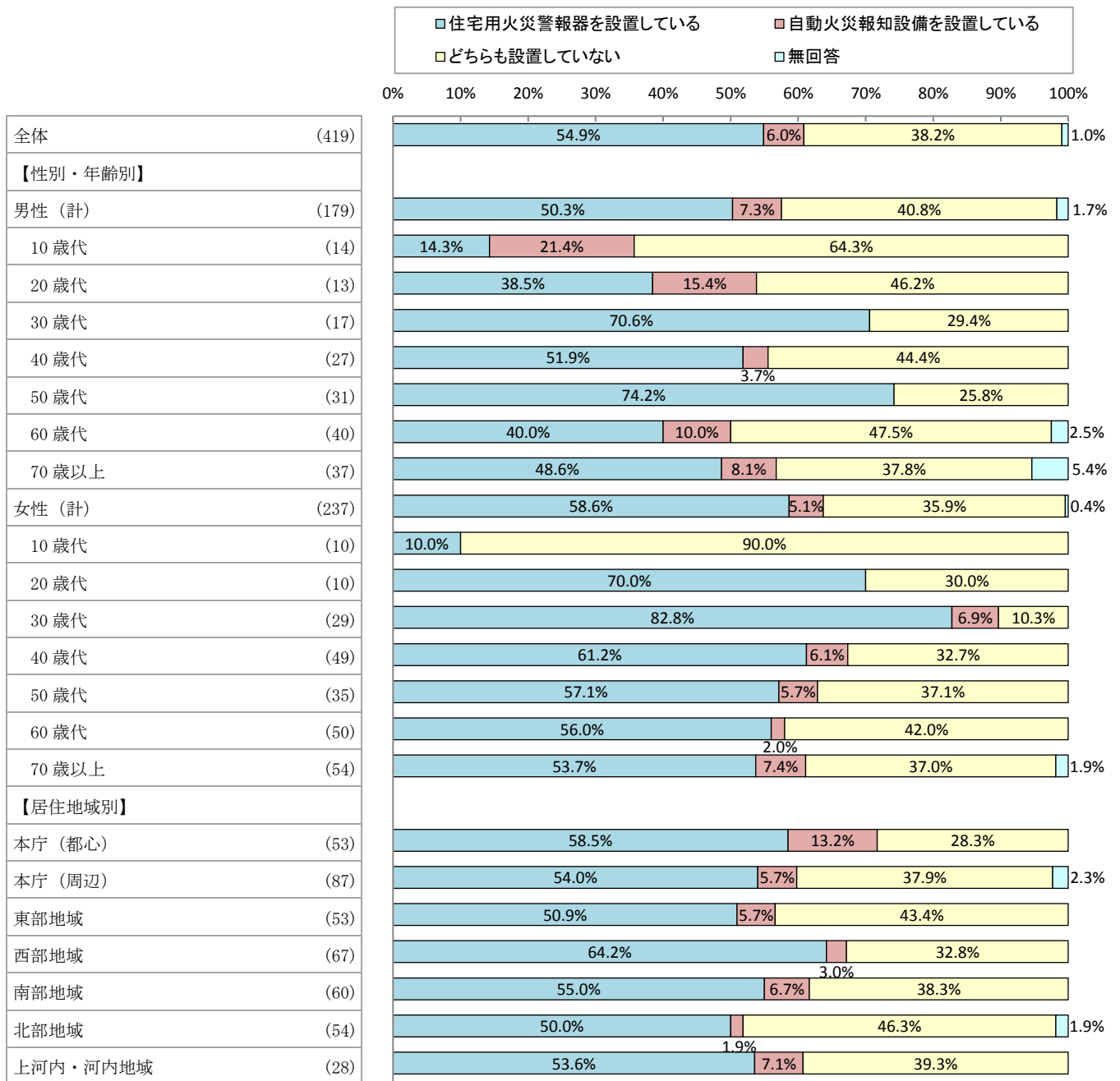


「住宅用火災警報器または自動火災報知設備」の設置状況については、「住宅用火災警報器を設置している」が54.9%、「自動火災報知設備を設置している」が6.0%で、これらを合わせた【住宅用火災警報器または自動火災報知設備を設置している（計）】は60.9%であった。（図IV-15-1）

性別・年齢別でみると、「住宅用火災警報器を設置している」は<女性/30歳代>が82.8%で最も高く、次いで<男性/50歳代>が74.2%であった。「自動火災報知設備を設置している」は<男性/10歳代>が21.4%で最も高く、次いで<男性/20歳代>が15.4%であった。一方、「どちらも設置していない」は<女性/10歳代>が90.0%で最も高く、次いで<男性/10歳代>が64.3%であった。（図IV-15-2）

居住地域別でみると、「住宅用火災警報器を設置している」は<西部地域>が64.2%で最も高く、次いで<本庁（都心）>が58.5%であった。「自動火災報知設備を設置している」は<本庁（都心）>が13.2%で最も高く、次いで<上河内・河内地域>が7.1%であった。一方、「どちらも設置していない」は<北部地域>が46.3%で最も高く、次いで<東部地域>が43.4%であった。（図IV-15-2）

<図IV-15-2>性別・年齢別／居住年数別



## (2) 「住宅用火災警報器等」の点検実施状況

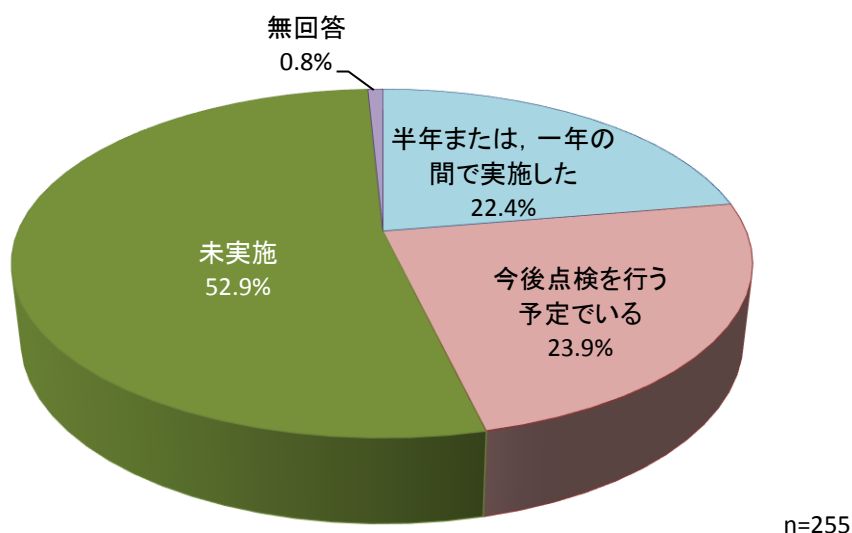
### ◇ 「未実施」が5割強

問51 問50で「1 住宅用火災警報器を設置している」「2 自動火災報知設備を設置している」と回答された方にお伺いします。

住宅用火災警報器等の『点検』はしましたか。 (○は1つ)

		n=255
1	半年または、一年の間で実施した	22.4%
2	今後点検を行う予定でいる	23.9%
3	未実施	52.9%
	(無回答)	0.8%

<図IV-15-3>全体

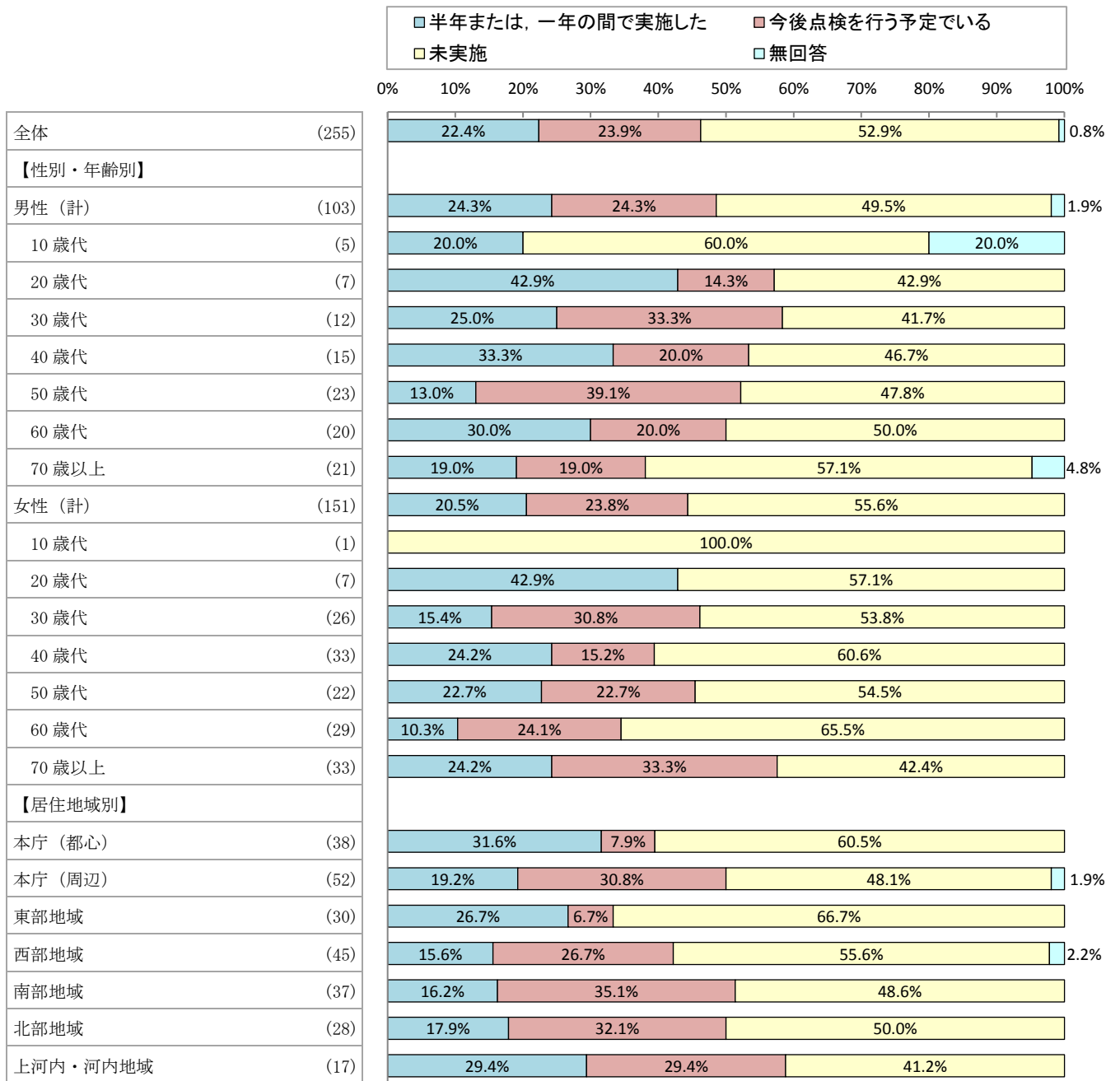


「住宅用火災警報器等」の点検実施状況については、「未実施」が 52.9%で、次いで、「今後点検を行う予定でいる」が 23.9%、「半年または、一年の間で実施した」が 22.4%であった。(図IV-15-3)

性別・年齢別でみると、「未実施」は、性・年代に関係なく4割超えであった。「今後点検を行う予定でいる」は<男性/50歳代>が 39.1%で最も高く、次いで<男性/30歳代><女性/70歳以上>が 33.3%であった。「半年または、一年の間で実施した」は<男性/20歳代><女性/20歳代>が 42.9%で最も高く、次いで<男性/40歳代>が 33.3%であった。(図IV-15-4)

居住地域別でみると、「未実施」は<東部地域>が 66.7%で最も高く、次いで<本庁(都心)>が 60.5%であった。「今後点検を行う予定でいる」は<南部地域>が 35.1%で最も高く、次いで<北部地域>が 32.1%であった。「半年または、一年の間で実施した」は<本庁(都心)>が 31.6%で最も高く、次いで<上河内・河内地域>が 29.4%であった。(図IV-15-4)

<図IV-15-4>性別・年齢別／居住年数別



(3) 「住宅用火災警報器等」を設置していない理由

◇ 「購入場所がわからない」が3割強

問52 問50で「3 どちらも設置していない」と回答された方にお伺いします。

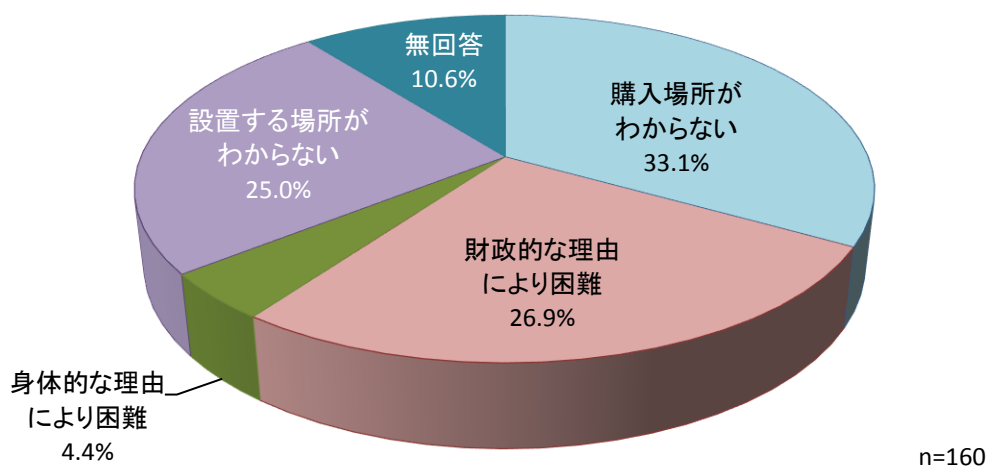
『住宅用火災警報器等』を設置していない理由は何ですか。

(○は1つ)

n=160

1	購入場所がわからない	33.1%
2	財政的な理由により困難	26.9%
3	身体的な理由により困難	4.4%
4	設置する場所がわからない	25.0%
	(無回答)	10.6%

<図IV-15-5>全体



「住宅用火災警報器等」を設置していない理由については、「購入場所がわからない」が33.1%で最も高く、「財政的な理由により困難」が26.9%、「設置する場所がわからない」が25.0%であった。(図IV-15-5)

性別・年齢別でみると、「購入場所がわからない」は<女性/20歳代>が66.7%で最も高く、次いで<男性/30歳代>が60.0%であった。「財政的な理由により困難」は<男性/50歳代>が37.5%で最も高く、次いで<男性/60歳代>が36.8%であった。(図IV-15-6)

居住地域別でみると、「購入場所がわからない」は<本庁(都心)>が53.3%で最も高く、次いで<東部地域>が52.2%であった。「財政的な理由により困難」は<上河内・河内地域>が36.4%で最も高く、次いで<北部地域>が32.0%であった。(図IV-15-6)

<図IV-15-6>性別・年齢別／居住年数別

購入場所がわからない     財政的な理由により困難     身体的な理由により困難  
 設置する場所がわからない     無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

